

平成30年度 全国体力・運動能力、運動習慣等調査における

北九州市立 上津役 小学校の結果分析と今後の取組について

スポーツ庁による「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」について、平成30年6～7月に、5年生を対象として、「体力・運動能力」と「運動習慣等」についての調査を実施いたしました。

この度、本年度の調査結果を分析し、今後の取組についてまとめましたので、お知らせいたします。

本結果は、学校の現状を知っていただくとともに、ご家庭での取組の参考にしていただきたいと思います。また、運動習慣については、学校のみでなく、家庭で運動を一緒に「する・みる・話す」ことが大切です。本校では、運動習慣の確立と授業の充実により、総合的に体力の向上を目指しています。ご家庭でも運動習慣の確立に向けた取組の充実をお願いします。

※本調査により測定できるのは、体力・運動能力の特定の一部分です。

1. 調査の目的

- (1) 子どもの体力等の状況に鑑み、国が全国的な子どもの体力の状況把握・分析することにより、子どもの体力の向上に係る施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。
- (2) 各教育委員会、各公立学校が全国的な状況との関係において自らの子どもの体力の向上に係る施策の成果と課題を把握し、その改善を図るとともに、そのような取組を通じて、子どもの体力の向上に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。
- (3) 各公立学校が各児童の体力や運動習慣、生活習慣等を把握し、学校における体育・健康に関する指導などの改善に役立てる。

2. 調査内容

(1) 実技に関する調査

[8種目] 握力、上体起こし、長座体前屈、反復横とび、20mシャトルラン、50m走、立ち幅とび、ソフトボール投げ

(2) 質問紙調査

運動習慣、生活習慣等に関する質問紙調査

3. 体力・運動能力に関する調査結果の概要

全国・本市・本校の実技調査の結果

<男子>

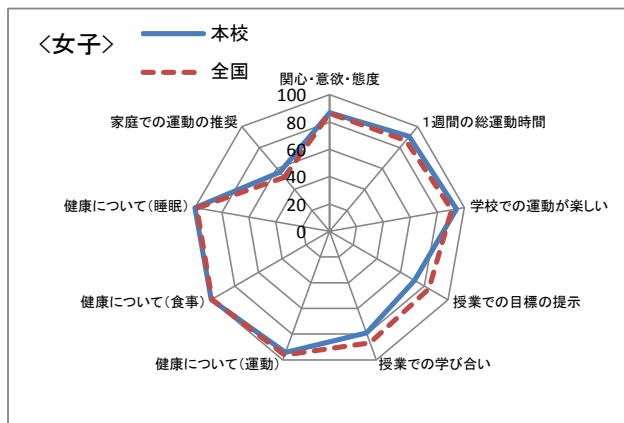
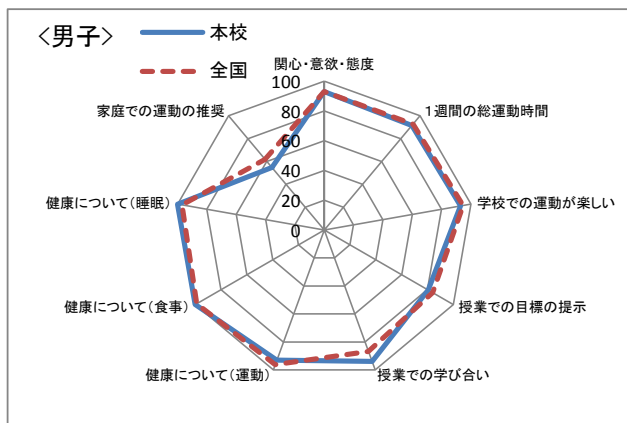
本年度の結果	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20mシャトルラン	50m走	立ち幅とび	ソフトボール投げ	体力合計点
全国	16.54	19.95	33.31	42.10	52.15	9.37	152.24	22.15	54.21
本市	16.69	20.49	33.79	42.59	55.22	9.38	154.29	23.74	55.23
本校全国平均以上の種目			○		○		○	○	○

<女子>

本年度の結果	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20mシャトルラン	50m走	立ち幅とび	ソフトボール投げ	体力合計点
全国	16.15	18.96	37.62	40.32	41.88	9.60	145.94	13.77	55.90
本市	16.24	19.41	37.96	40.62	44.39	9.61	147.43	13.93	56.64
本校全国平均以上の種目	○	○	○	○	○		○	○	○

4. 運動習慣や生活習慣等に関する質問紙調査結果の概要

質問紙調査レーダーチャート



質問紙調査の結果分析

実技は、全国平均を上回る種目が半数以上あり、実技面の充実が伺えるが、「20mシャトルラン」「50m走」など、素早く動いたり動きを持続させたりすることに関しては、平均を下回っている。運動習慣や生活習慣等に関する質問では、全国平均と同等の値が出ている。これらは、体育科においても授業改善を図ったり、休み時間に屋外で過ごすように声かけをしたりした結果であると考えられる。今後は、体育科においても「めあて」と「まとめ」を大切に、児童相互で見合ったり教えあったりし、児童が「みんなと体を動かすことが楽しい」と感じることができるようしていきたい。

5. 調査結果から明らかになった、課題解決のための重点的な取組

① 教科(授業)に関する取組(全校で・学年で・学級で)

- 運動量及び運動時間を確保することができるように授業の改善を図る。
- 体育科学習においても、互いに教えあったり見合ったりする機会を設ける。
- 縄跳びや持久走に継続して取り組む。

② 運動習慣等に関する取組(1校1取組)

- 冬場の体育科等で縄跳びタイムや持久走タイムを設ける。
- 縄跳びや持久走等の自己の記録が分かるように縄跳びカードや持久走カードを作成し、児童に配布する。
- 休み時間に屋外で遊ぶように声かけを継続して行うとともに、安心して運動場を使用できるように整備を行う。